

授業作り	重点	一人ひとりが伝えたい思いや考えをもち、適切に表現する力を高めることができるように、課題を的確に捉え、主体的に考えることができる授業を工夫する。
環境作り		多様な交流の場を設定し、相互評価等、児童相互を通して良さを認め合い高め合う活動を工夫し、支持的風土を醸成する。

■ 学年の取組について 中間評価結果を受けて、以下の変更を加えました。

・新規取組事項（□太字下線） ・重点取組事項（太字下線） ・重点取組事項内新規取組（太字二重下線）

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		【国語】 ・姿勢や口形、発声、発音に注意して話すこと。 ・字形に気を付けて、文字を丁寧に書くこと。 □日々の出来事や感想を記録する。 【算数】 ・10の補数がすぐに分かるようになること。 ・加減計算の式の表し方や計算の仕方を考え、計算すること。	【国語】 ①音読するときの姿勢図を活用した指導 ②母音の口形、発音、発声の反復練習 ③鉛筆の持ち方や姿勢の声かけと、平仮名・片仮名・漢字の手本を活用した指導 ④主語と述語の関係を意識させ、事柄の順序に沿った簡単な作文指導を行う。 【算数】 ①具体物や半具体物を用いた操作活動の計画的設定 ②授業内に習熟の時間を設定（ベシックドリルを活用） ③家庭学習による継続的な計算練習・ドリルの活用
2 学 年	【国語】 ○繰り返しの文字練習（ひらがな・カタカナ・漢字）を通し、丁寧に書く力や基本的な力が定着してきている。 ○年間を通した音読の活動や宿題を通して、文として文字を読む力が向上してきている。 ●文章から適切に筆者の考えや登場人物の行動や気持ちを読み取ることは個人差が見られる。叙述をもとに考えを書く活動を繰り返し、経験を積んでいく必要がある。	【国語】 ・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 ・文章の内容を理解し、叙述をもとに自分の考えを書くこと。 ・自分の考えを相手に伝えたり、話の中心に気を付けながら、大事なことを落とさずに聞いたりすること。	【国語】 ①確かめや復習、再テストなどによる継続的な学習時間の設定（ベシックドリルを活用） ②叙述から自分の考えを引き出すためのワークシートの使用 ③メモの取り方の指導や、小グループでの話し合い活動の設定

	【算数】 ○数の構成、基礎計算は繰り返しの練習によって、理解が深まっている。 ○計算の仕方や式の意味を自分の考えとして表すことを繰り返したことで、相手に考えを説明する力が向上してきている。 ●文章題では問題の読み取りが正確にできておらず、立式を間違える児童がまだ見られる。文章を読み取る力を育てるとともに、問題の意味を理解できるよう、繰り返し取り組ませていく必要がある。	【算数】 ・計算の方法を理解し、問題を解くこと。 ・<u>文章問題の内容を読み取り、正確に立式すること。</u> ・<u>計算や立式の方法を相手に説明すること。</u>	【算数】 ①朝学習やタブレット端末、プリントなどを使用した反復学習 ②解き方のパターンを提示し、文章問題に繰り返し取り組む指導 ③小グループでの話し合い活動の設定
3 学 年	【国語】 ○短時間で、聞く態勢を整えられるようになり、大事なことを聞き取る力が伸びてきている。 ○漢字を丁寧に書く力は全体的に伸びてきている。 ○注目した言葉にサイドラインを引きながら、そこから自分の考えたことを書いたり、話したりできるようになってきている。 ●必要な情報を読み取って、文章化する力には個人差が見られる。問われていることについて、主観を交えずに捉え、主語、述語に気を付けて書けるよう指導することが必要である。 【算数】 ○授業では、自分の考えを式や言葉、図で説明することができる児童が増えてきている。 ○加法、減法、乗法の計算が、速く正確にできるようになってきている。 ●新宿区学力定着度調査では、特に、数と計算領域では、3.8ポイント下回っており、加法、減法の筆算や、文章を読み立式することにおいて、さらに習熟が必要である。	【国語】 ・最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。 ・<u>考えた内容を、相手に伝える言葉にして表現し、伝えること。</u> ・文中の言葉から分かることを想像して読むこと。 ・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。 ・<u>既習の漢字、拗音・促音、カタカナ、「」、句読点の使用を身に付けること。</u> 【算数】 ・<u>基本的な計算問題を正確に解くこと。</u> ・繰り上がり、繰り下がりのある問題について正しく計算すること。 ・長さやかさの単位換算や量感を習得すること。 ・かけ算九九の定着、問題の意味を捉えて立式すること。 ・文章問題について、問われている内容を正確に捉え、問題を解くこと。	【国語】 ①話し方と聞き方の日常指導 ②ペアや小グループなどでの話し合い活動の設定 ③一人読みの時間の確保 ④読みの視点やサイドラインの引き方の提示 □<u>事実やそれ基をもとに考えたことを文章に書く活動</u> 【算数】 ①朝学習や家庭学習でのドリル学習 ②デジタル教科書や模型等を活用した数量感覚の涵養 ③数直線、式、言葉、図などを用いて考えを説明する機会の設定
4 学	【国語】 ○漢字を丁寧に書く力は全体的に伸びてきている。	【国語】 ・<u>必要な内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち、工夫して表現すること。</u>	【国語】 ①隣同士や小グループなどでの話し合い活動の設定

年	○注目した言葉にサイドラインを引きながら、そこから自分の考えたことを書いたり、話したりできるようになってきている。 ○自分の感想や考えを豊かな言葉でまとめられるようになってきている。 ●大事なことを意識して話を聞くことに課題がある児童がいる。 【算数】 ○東京ベーシック・ドリルに苦手部分を中心に取り組んだことで、基礎計算力が上がってきている。 ●コンパスや三角定規などを用いた図形の問題や作図に関しては課題が残る。宿題等で取り組む機会を定期的に操作に慣れる必要がる。	・文の構造をとらえることや<u>語彙を広げる</u>こと。 ・内容の中心やまとまりを考えて内容を整理し、その理由・事例を明確にして文章にまとめること。 ・最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。 □<u>事実やそれを基に考えた文章を書くこと。</u> 【算数】 ・<u>繰り上がりや繰り下がりがある、桁数が多い等、多様な四則計算について、正確に計算できる技能を身に付けること。</u> ・数の構成について理解し、数の関係を捉えて式で表現したり、式や図を活用したりして自分の考えを表現すること。 ・<u>コンパスや三角定規、分度器等を、目的に応じて正確に使用すること。</u>	②家庭学習による継続的な漢字練習と字形を正しく書くための学習の設定 ③<u>一人読みの時間の設定</u> ④<u>読みの視点やサイドラインの引き方の提示</u> ⑤<u>個人・ペア・全体と意見を考え交流する場の意図的設定</u> ⑥聞くことに意識を向けるため、話す内容を明確にさせる意図的指導 □ミニ作文や日記、体験活動の報告や感想など自分のことについて各活動の意図的設定 【算数】 ①<u>家庭学習による継続的な計算練習・ドリルパークの活用</u> ②視覚的な資料を活用した指導及びデジタルコンテンツの活用 ③個、グループ、全体での共有時間の確実な設定 ④<u>コンパスや分度器などの道具を使用する課題の意図的設定</u>
----------	--	---	---

5 学 年	【国語】 ○物語文の学習の際、読む視点を明確にしたり、叙述に着目したりしたことで、登場人物の気持ちや場面の移り変わりを読み取る力がついてきている。 ●全体の平均値は上がっているが、記述式を苦手と感じている児童もいる。 ●初めて読む文章を読み取ることが苦手な児童には、物語文や説明文の学習を通して、読む力をつけていく必要がある。 【算数】 ○応用問題を苦手としている児童が多かったが、東京ベーシック・ドリル等で復習の時間を確保したことで成果があらわれてきている。 ●文章題や平面図形の問題を苦手と感じている児童には、学習タイムを中心に東京ベーシック・ドリル等で復習していく必要がある。	【国語】 ・目的や意図を考えて、文章を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。 ・<u>主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、自分の考えを筋道立てて説明したり、意味の通る文章にまとめたりすること。</u> ・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。 ・友達との意見交流を通して共通点や相違点に気付くことで、自分の考えを深めること。 【算数】 ・繰り上がりや繰り下がりのある計算、わり算やかけ算の筆算、小数や分数の計算などの基礎的な問題を正確に解けること。 ・コンパスや分度器を用いて正確に作図ができること。 ・<u>式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</u> ・友達との意見交流を通し、新たな考えを知ることの楽しさと意義を知ること。	【国語】 ①選択肢の設定と選択の根拠や理由を明確にする指導 ②自分の意見を表現し、伝えるべき相手への意識を明確にもつための指導 ③字形を正しく書くためのポイント指導と読み直す習慣をつけるための時間の設定 ④個人・ペア・全体と意見を考え交流する場の意図の設定 ⑤デジタルドリル「主に言葉に関する内容」に取り組む時間の設定 【算数】 ①既知の情報で満足せず、探求したいと感じる課題提示の工夫 ②意見を比較・分類・関連付けの板書の工夫 ③プリントやデジタルドリル問題を活用した既習事項の基礎的な反復練習する機会の設定 ④作図する機会の意図の設定 ⑤作図の際の細部の正確さを促す指導 ⑥<u>多様な論理的な思考を促す思考場面の設定と個の思考時間、グループや全体での共有時間の確実な設定</u> ⑦意見交流の意義と重要さを、実感を伴った授業展開において伝える工夫
6 学 年	【国語】 ○一人読みの時間を充分にとることで、読み取るとともに、自分の読みを深める力が付いてきている。 ●全体の平均値は上がっているが、記述式を苦手と感じている児童もいる。 ●特に、漢字を中心とした、基礎的な知識・技能面を苦手としている。 【算数】 ○基礎的な数や計算のきまりについては定着している児童が増えた。また、式・図・文などを用いて説明する習慣がついている。 ●分数や小数など、基本的な計算に苦手意識がある児童には、正確に計算する	【国語】 ・授業の中でグループでの話し合いや交流の時間を通して、自分の考えを深めたり、低児童が考える手がかりとしたりすること。 ・持続的・反復的な感じのスキル学習に取り組むこと ・<u>目的や意図、立場や根拠などを明確にして、自分の考えを表現すること。</u> 【算数】 ・<u>課題について、既習事項などを参考に、自分の考えを筋道立てて説明すること。</u> ・計算や図形の性質、数量関係など基礎的な技能を身に付けること。 ・器具を用いて正確に作図すること。	【国語】 ①<u>意図的グループや時間設定での交流活動の設定</u> ②毎日の家庭学習への漢字学習の導入 ③表現することの意義や楽しさを児童が感じられるような言語活動の設定 【算数】 ①十分な課題解決の時間の確保。 ②既習事項のヒントカードやワークシートなどの工夫 ③<u>家庭学習での基礎基本の反復学習</u>

	力を身に付ける必要がある。		
特 別 支 援	【国語】 ○音読することにより、物語全体をおおむね理解することができた。 ●思いを言葉で表現することができるように、書く指導が必要である。 【算数】 ○基礎的な計算を繰り返し行うことで、意欲的に取り組むことができた。 ●何を問われているか、問題の意図を理解することが必要である。	【国語】 ・内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。 □既習の漢字、新出漢字の読みを身に付けること。 【算数】 ・<u>基礎計算を正確にできるようにすること。</u> ・問題文を正しく読み取り、実生活に結び付けて理解すること。	【国語】 ①読む視点を明確にするためのサイドラインの指導 ②<u>音読指導の計画的設定</u> ③自分の考えを表現する個の思考時間の確保 【算数】 ①継続的な計算練習の時間の確保 ②生活に使用する具体物の提示